

各位

プレスリリース

株式会社農業総合研究所

きゅうりは値上がり傾向、猛暑で高止まりの見通し 今年の猛暑は夏野菜のきゅうりにも厳しい影響

「持続可能な農産業を実現し、生活者を豊かにする」をビジョンに掲げ、全国の都市部を中心としたスーパーマーケットで「農家の直売所」を運営する株式会社農業総合研究所（本社：和歌山県和歌山市、代表取締役会長 CEO：及川 智正、以下「農業総合研究所」）は旬を迎えた、きゅうりの5月～8月の販売動向をまとめました。

調査方法は農業総合研究所が全国のスーパーマーケットで展開している2,000店舗以上の「農家の直売所」での販売データを集計したほか、生産者などへのヒアリング調査を実施しました。

今年5月～8月のきゅうりの平均価格は160.6円でした。昨年の同時期は144.9円でしたので、前年比10.9%の値上がりとなっています。また出荷量は5月で前年比15.3%増、6月は同48.5%増、7月は同8.6%増、8月は同9.3%増となっています。

きゅうりは夏野菜なので、本来、暑さには強い特徴があります。ですが今年はそうしたきゅうりの性質でも耐え切れない猛暑であることから、収穫量は増えず、価格は高止まりするものと見られます。

そして現在でも9.3%の値上がりとなっているきゅうりですが、この値上げ幅では生産者が光熱費・肥料代・輸送費・人件費などの上昇を十分に吸収できているとは言い難い状況です。

今回、調査に協力いただいた生産者：株式会社きたなかふぁーむ

代表取締役：北中 良幸

所在地：滋賀県野洲市 市三宅 1994

<https://kitanakafarm.co.jp/>

株式会社きたなかふぁーむは、「昔、おばあさんが孫のために育てたきゅうり」を「おいしいきゅうり」と定義しています。さらに生産者がやりがいを感じ、消費者に喜んでもらえることを大切に考え、栽培・収穫をしています。収穫に喜びを素直に感じられる障がい者や年代によって価値観の違いを共有できる仲間など多様な人財の能力を活かすことで、モノの価値とコトの価値を兼ね備えた新たな付加価値を生み出しています。

農業総合研究所は株式会社きたなかふぁーむのような主体的に農業に取り組む先駆的な生産者を常に応援する存在でありたいと考えています。



調査方法

調査期間：2024年5月1日～2024年8月31日

調査方法：当社が全国 2,000 店舗以上のスーパーマーケットで展開する「農家の直売所」、及び産直卸での販売データ、及び、生産者へのヒアリングを基に導出

■ 会社概要

株式会社 農業総合研究所 (JPX 証券コード 3541)

〒640-8341 和歌山県和歌山市黒田 99 番地 12 寺本ビル II 4 階

<https://nousouken.co.jp/>

「持続可能な農産業を実現し、生活者を豊かにする」をビジョンに掲げ、日本及び世界から農業が無くならない仕組みを構築することを目的とした産直流通のリーディングカンパニーです。全国約 10,000 名の生産者と都市部を中心とした約 2,000 店舗の小売店を IT でダイレクトに繋ぎ、情報・物流・決済のプラットフォームを構築することにより、農産物の産地直送販売を都市部のスーパーで実現した「農家の直売所事業」と、生産者から農産物を買取り、ブランディングしてスーパーに卸す「産直卸事業」を展開しています。

■ 本件に関するお問い合わせ

株式会社農業総合研究所 経営管理部 広報課

〒640-8341 和歌山県和歌山市黒田 99 番地 12 寺本ビル II 4 階

TEL : 073-497-7077 Mail : pr@nousouken.jp